

平成 28 年 10 月 17 日

JR九州バス株式会社

# BUS TOP FARM

JR九州バス アグリプロジェクト

## 先端農業技術「アイメック®」を使用したアグリ事業参入について

JR九州バス(株)では、路線バス沿線の「地域を元気に！」を目的に、新規事業として特殊なフィルムを用いた高糖度、高栄養価の付加価値ミニトマト生産事業に参入しましたのでお知らせします。

当社は、アイメック®の開発・販売・技術指導を行っているメビオール(株)の技術支援を受け、糖度と栄養価を高める「高付加価値トマト」の栽培及び販売を行います。

栽培箇所は当社路線バス沿線地区を予定しており、栽培に関わるスタッフは地元の方々を雇用し、地域発展に寄与します。

### (1) 場所

- 平成 28 年 8 月～平成 29 年 7 月

熊本県玉名地区でJR九州ファーム(株)がミニトマトを栽培しているビニールハウスのうち1棟を賃借し、アイメック®による試験栽培を行います。

- 平成 29 年 8 月～

当社が運行している路線バス沿線の福岡地区において、新たに土地を賃借し栽培を行う予定です。

### (2) 屋号

BUS TOP FARM

### (3) 栽培品種

初作：フルティカ（ミディトマト）

※今作の収穫は、11月初旬～来年6月を予定しています。

### (4) 販売

インターネット、道の駅等を予定しています。

## 【アイメック®とは】

アイメック®は、メビオール(株)が開発したハイドロゲルでできた薄いフィルムの上で植物を育てる栽培方法です。この栽培技術は、土壌のかわりに特殊なフィルム「アイメック®」を用いるため、長年の経験が必定な“土づくり”がなく、農業未経験者でも短時間で再現性が高い農業の習得が可能です。また、水・肥料を必要最小限に抑え、廃液を出さない環境に配慮した農業技術である他、従来の栽培方法に比べて誘引や芽かき等の作業量の軽減や養液量の低減など、栽培コストを抑えることで高い収益を目指すことが可能です。

アイメック®の技術は、砂漠でも汚染された土壌や塩害を受けた土壌でも高品質の野菜を育てることが可能なため、UAE（アラブ首長国連邦）の砂漠地帯や、東北地方の津波の被害にあった地域においても栽培を実現しており、日本のみならず世界各国からも注目されています。



※アイメック®に関して、メビオール(株)の公式サイト「<http://www.mebiol.co.jp/>」から一部引用しています。

## 【BUS TOP FARM とは】

当事業の屋号で、「JR九州バス(株)がプロデュースする高品質で上質な農産物を生産・販売する農園」という意味を込めました。

「BUS TOP FARM」では、主にミニトマト（中玉～小玉）を栽培します。

トマトは、女性が食べたい野菜第1位で、特にミニトマトは需要が高いです。アイメック®で栽培したミニトマトは、糖度10～12度（通常のトマトは6度程度）になり、甘みと旨みがとても強くなります。特に、リコピン、ビタミン、カリウム、GABAが通常のミニトマトより多く含まれており、健康や美容への効果が期待されています。昨今、健康志向の高まりや質の良い物を求める需要が多くなっているほか、自分へのご褒美を求める需要が増えています。「BUS TOP FARM」では、そのような需要にしっかりと応えられるよう、植物たちとしっかり向き合い、手間を惜しまず、子育てするように愛情を注いで育てた高品質で上質なミニトマトを提供します。

また、栽培地区は当社の路線バス沿線地域を考えています。当社の路線バス沿線は農業が主体の地域が多く、少子高齢化や農業の後継者不足も課題となっています。「BUS TOP FARM」は、沿線地域の方々と一緒にアイメック®による栽培を行いたいと考えています。特に、ママさん世代や若年層の方々に雇用を提供することで、これまで農業に触れたことの無い方々にも、農業に従事する楽しさを感じていただきたいと思います。

トマトを作る人も食べる人も全ての人が健康で笑顔になり、地域が元気に！なるよう貢献します。

BUS TOP FARM

JR九州バス アグリプロジェクト